

三原市久井歴史民俗資料館 vol.44

モーモー通信



むかしばなし

昔話にでてくる民具②

みんぐ



かちかち山やまって知ってる？

今回は、昔話「かちかち山」に出てくる道具しょうかいを紹介
します。かちかち山は、いたずらばかりするタヌキを、
ウサギがおじいさんおばあさんに代わって、いろいろ
とこらしめるお話です。

タイトルの「かちかち山」は、ウサギがタヌキの背負せお
った背負子しょうこの柴しば(山はに生える雑木そうき)に、火打石ひうちいしで火をつ
けようとしたところ、カチカチと音おとがなった場面ばめんからき
ています。



背負子しょうこ

荷物にもつを運はこぶための道具です。「おいこ・せおいばしご」と
もいい、昔話にはよく登場とうじょうする道具です。はしごのような
木枠きわくに、収穫物しゅうかくぶつや木の枝えだ、わらわら、炭すみ・塩しおなどをしめ縄なわでく
くりつけて運びます。

木枠に一本の木まを曲げてそのまま使っているものや、背
あてにクッションのための縄なわを巻まき付けているものなど、
使う人つかや地域ちいきによって形や作りはさまざまです。家で手作
りしているものが多く、資料館には子ども用の背負子しょうこも
収蔵しゅうぞうされています。子どもも普段から、家の仕事を手伝っ
ていたのですね。



すごい量りょうの柴しばだモー
昔たいへんの人は、モー大変！

約 60 年前に三原で撮影→
背負子を使っている様子



ひ うち い し ひ うち が ね
火打石 火打金



「かちかち山」の本文の中で、ウサギが石で火をつける場面があります。火打石は石英や水晶など硬い石を用いますが、火打石だけでは火はつきません。火打石と火打金をぶつけて火花をだし、燃えやすいものにうつして火をおこします。火打金は鋼や、使い古しの鎌の鉄を利用することが多く、火打鎌ともよばれました。持ち手の木片に、火打金を取り付けたものが多くみられます。



企画展 はじまる

9月25日(水)～12月15日(日)まで
 第四展示室で、「モノ語りの道具展」
 を開催します。昔話に登場する古い道具を
 見に行こう！今回ご紹介した、背負子や
 火打金も展示します。

かんれん
関連イベント、も～りだくさん♪

くわしくはこちら→市HP



<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/172655.html>

つづきは資料館で...

7722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

